

平成27年12月2日

区有施設における杭施工データの一部流用について

葛飾区では、建築物における杭工事に関する報道等を受けて、過去10年間に施工した区有施設の杭工事について調査を進めています。その調査を進めている中で、既製コンクリート杭の電流計データの流用があることが判明しました。

1 杭施工データの一部流用があった区有施設

- (1) 施設名 葛飾区双葉保育園
(2) 所在地 葛飾区東堀切1-15-16
(3) 施設概要 鉄筋コンクリート2階建て 敷地面積 1538.88 m²
延べ面積 636.43 m²



2 施工会社及び契約について

施工会社 元請 田辺工務店株式会社
(契約金額、(契約変更後)) 317,197,164 円
契約日 平成25年10月2日
工期 平成25年10月3日 ~
平成27年1月30日

杭工事 一次下請け 三信通商株式会社
二次下請け ジャパンパイル株式会社

3 これまでの主な経緯

10月20日

過去10年間に杭工事を実施した区有施設について保管している資料より、調査対象施設（7施設）を抽出した。

10月23日

旭化成建材株式会社の既製コンクリート杭を使用した区有施設がないことを区ホームページ等にて公表した。

10月26日

過去10年間に杭工事を実施した区有施設について、区職員による緊急点検を実施し、建物の傾きや亀裂等がないことを確認し、施工データについて確認作業を進める。

11月17日

旭化成建材以外の杭工事の報告書について調査を実施していること及び調査対象施設について緊急点検を実施し、傾きや亀裂等がないことを区ホームページ等に公表した。

11月18日

区が独自調査を進める中で、データ流用の疑いのある本件の状況を発見した。データ流用が疑わしい本件について、工事請負業者に連絡し、至急調査するよう依頼した。

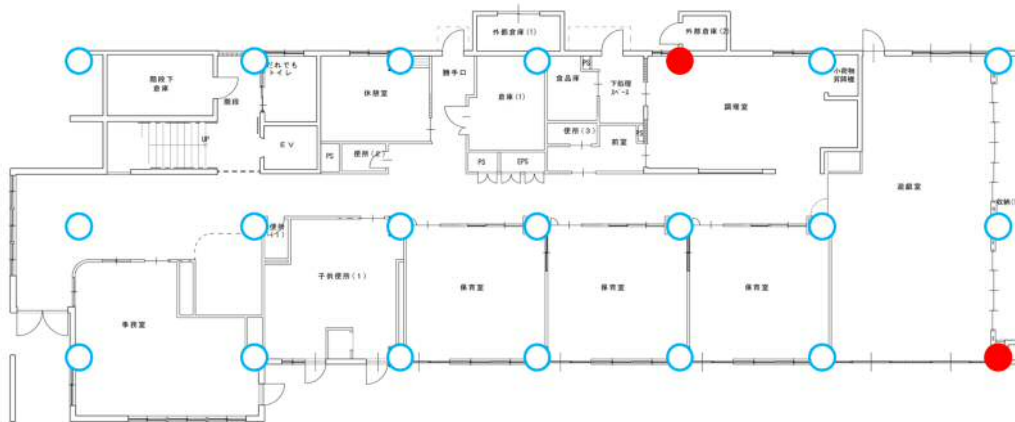
11月27日

元請会社より、データ流用を認める報告を受けた。

4 流用があった理由（区側の聴き取り調査）

全21本の杭のうち2本の電流計のデータが計測したにも関わらず、機器類の不具合からデータ値が取れず、近くの杭データの一部を流用してしまったとのこと。（別図参照）

電流計とは、掘削機のモーターの電流を図るもので、地盤の固さにより針がふれ、支持地盤に到達しているかの資料の一つとして利用される。



○杭の位置

●流用のあった杭

5 安全性の確認

ボーリング調査結果（調査期間：平成24年1月19日～1月28日まで）により支持地盤の深さ及び土質等を把握しているため、杭の施工では、区職員が最初に打ち込む杭の打設に立ち会うとともに、データ流用が判明した杭も含めすべての杭について施工写真等により設計通り施工されていることを確認している。さらに、杭の現場納品時に杭の長さ及び数量を確認している。

また、区職員の調査により、建物の傾きや亀裂等がないことを確認している。

6 今後の対応

区職員により安全性の確認は行っているものの、利用されている方々の不安を払しょくするため、12月4日（金）午後6時から双葉保育園で保護者説明会を行う（本日保護者の皆様へ通知）。また、区職員による定期的な点検を行い適切な維持管理を行っていく。

また、施工会社へは、引き続き詳細な調査を求めるとともに、再発防止に向けて対応策検討していく。